

大会名 Competition	第19回能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-5	Year Month Day Time 2006 年 5 月 3 日 16 : 30
場所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B															
能代工高	<table border="1"> <tr><td>18</td><td>1st</td><td>18</td></tr> <tr><td>17</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>21</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>33</td><td>4th</td><td>10</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	18	1st	18	17	2nd	16	21	3rd	14	33	4th	10		OT		市立柏高
18	1st	18															
17	2nd	16															
21	3rd	14															
33	4th	10															
	OT																
89 ○		58 ●															

主審:Referee
片 寄 達 (宮城)
副審:Umpire
小野寺 浩 (秋田)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
秋田県立能代北高等学校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	下山 竜 良	CAP	9	1	3	0	1	4	／	小林 秀 平		11	3	1	0	1
5	×	満原 優 樹		13	0	6	1	4	5	×	宇田川 一 馬		17	3	4	0	2
6	×	長谷川 技		15	0	7	1	1	6	×	本 田 勇 真		10	0	5	0	4
7	×	渡 部 敬 祐		21	5	3	0	3	7	×	于 春 龍		14	0	5	4	2
8	×	西山 達 哉		29	3	8	4	0	8	×	井 上 幸 浩	CAP	2	0	1	0	0
9	／	高橋 健太郎		2	0	1	0	0	9	×	南 田 隼 人		4	0	2	0	2
10	／	遠藤 悠 亮		0	0	0	0	0	10		野 平 尚 希		-	-	-	-	-
11	／	鈴木 啓 介		0	0	0	0	0	11		上 口 真 弘		-	-	-	-	-
12		宮 川 光		-	-	-	-	-	12		小 野 壮 晃		-	-	-	-	-
13	／	永 須 亘		0	0	0	0	0	13		中 村 翔 太		-	-	-	-	-
14	／	館 山 健 太		0	0	0	0	0	14	／	鎌 田 崇 史		0	0	0	0	1
15		村 上 永 英		-	-	-	-	-	15		森 田 洋 章		-	-	-	-	-
16	／	高橋 陽		0	0	0	0	0	16		柴 田 和 紀		-	-	-	-	-
17		熊 谷 健		-	-	-	-	-	17	／	林 裕 輝		0	0	0	0	0
18		石 川 朝		-	-	-	-	-	18		森 田 大 介		-	-	-	-	-
コーチ		加 藤 三 彦							コーチ		飯 沼 加 寿 夫						
Aコーチ		佐々木 信 吾							Aコーチ		柳 亮 裕						
		合 計		89	9	28	6	9			合 計		58	6	18	4	12

※×:スターター 〃:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率* イントシュート 2P:2P率* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

能代カップ初日の最終ゲームは、東北、関東の新人戦をそれぞれ制した能代工と市立柏という好カードとなった。

能代工はゲーム開始直後から激しいディフェンスを仕掛けるが、シュートが思うように決まらず得点が伸びない。一方の市立柏も立ち上がりやや動きが重く、序盤はロースコアの展開となる。能代工は#8西山の1対1を突破口に徐々にリードを奪うが、残り3分で市立柏が#4小林を投入すると流れが変わり、#5宇田川の連続3Pで追いつき18-18の同点で第1Qを終える。

第2Qの立ち上がり、能代工は#6長谷川が積極的に攻撃を仕掛け先行するが、市立柏は#4小林の連続3Pですかさず逆転に成功する。能代工はアウトサイドシュートが不調で苦しむが、残り3分を切ってから得意のディフェンスからの速い展開が出始め、再度逆転に成功、35-34と能代工の1点リードで前半が終了。

第3Qの出だしは両チームとも気負いからミスが続くが、攻守のスピードに勝る能代工がじわじわとリードを奪う。能代工は#8西山が縦横無尽に動き回り得点を重ね、終盤には#長谷川が2本連続で#5満原に好アシスト、絶妙のコンビネーションを見せる。一方の市立柏はリバウンドで粘りを見せるものの、能代工の激しいフルコートプレスの前にリズムを崩し、本来のオフェンスを展開できない。56-48と能代工がリードを広げ第3Qが終了。

第4Qに入ると能代工がスパート、#8西山が3P、スティールからの速攻などで一気に引き離しにかかる。市立柏は単発で外角シュートが決まるものの、能代工は速い展開からすかさず反撃をしかけ、いとも簡単に得点を重ねる。残り6分で17点差がついたところで市立柏はたまたまタイムアウトを請求。しかし能代工の勢いは止まらず、ここまでアウトサイドシュートが不調だったシューター#7渡部が4連続3Pを沈めて勝負を決めた。

試合を通して決して好調なわけではなかった能代工だが、勝負所に畳み掛ける強さはさすがであった。30点差で快勝した能代工が初日2勝と上々のスタートを切った。